

ノビタキ（ヒタキ科） 全長 13 センチ

春と秋の渡りの時期に渡来し、農耕地などで観察されます。

今年も稲穂が頭を垂れ、秋の刈り取りが始まる季節になりました。広い田んぼの中、周辺より少し背の高い草などに止まり昆虫類、クモ類などを採食しているのを見かけます。

今年は 9 月 17 日、早めに飛来したメスのノビタキが見つかりました。周囲よりやや高い杭の先端に陣取り、周囲を伺っています。暫く地上を見つめると、ひょいと降りて虫を捕まえ戻って来た。



メスは、クリっとした目がポイントです。

野菜などを食い荒らす青虫とよく似ています。

何回か繰り返していたが、素早い行動とあまりにも小さい餌で種類は分かりません。今度は杭から飛び上がり、頭上から小さな虫を捕まえてきた。地上だけでなく、空中を飛び交う虫も器用に捕獲していたのです。



地上から小さな虫を捕らえてきた。



今度は青い虫。

杭で餌を探すノビタキに、トンボが近づいてきました。頭上を通り過ぎようとするトンボに狙いを定め、パッと飛び上がった。

しかし、間一髪で襲撃をかわし飛び去ってしまった。ノビタキにとり、秋の農耕地は餌も豊富で食べ物には困ることはないでしょう。まもなく仲間がどんどんやってくると、賑やかになりそうです。猛禽類などの天敵に襲われることなく、無事に南に渡ってほしいものです。



頭上を横切るトンボを見つめる。



パッと襲いかかったが、逃げられてしまった。